



Future of the Consumer Industry

前例のない未来—6つの変化要因から見る日本市場の課題と可能性—

コンシьюマー業界の未来を形作る6つの要因

- 日本企業が100年に一度の経済的、社会的、技術的転換期を乗り越えるために -

再構築される社会



変化する消費者



業界の大変革



技術の急速な発展



経済・政策・権力の変化



極端な気候変動と
エネルギー革命



6つの変化要因から見る 日本市場の課題と可能性

変化する消費者



高齢化の加速やZ世代・α世代の台頭、新興市場の拡大など、社会や人口動態の変化が、消費者の価値観や行動に新たな変化をもたらしている。

移民の増加や性自認の多様化、家族形態の変容など、社会の幅広い価値観・多様性が一層広がる一方で、都市への人口集中や地域間での格差も拡大している。

さらに、金融資産を持たない世帯の増加と資産保有世帯の資産拡大による富の不平等が一層顕著になっている。

加えて、インバウンド需要や環境志向の高まりも消費者行動に新たな影響を与えている。

- 老化と長寿
 - 人口総数の減少
 - 平均寿命の延長
 - 若年層と高齢層の収入と貯蓄の変化
 - 貯蓄額に占める高齢者世帯の割合
 - 世代別消費意向
 - 有料高齢者向け住まい・施設数の増加
- 変化する家族の形
 - 既婚率の低下と晚婚化
 - 核家族化と高齢世帯の増加
 - 婚姻に至る出会い方の変化
- 人種や民族の多様性
 - 在留外国人数の増加
 - 米国トレンドに見る移民
 - 外国人労働者の増加
 - インクルーシブ・マーケティング
 - インパクトソーシング
- セクシュアリティと性自認
 - LGBT+の割合
 - ターゲット層の多様化
- 都市への集中
 - 都道府県別人口減少率の将来予測
 - 住宅増加率・空き家率の増加
- 富の不平等の拡大
 - 主要国と比較したジニ係数
 - 金融資産の保有状況の変化
- 世代間の資産格差
 - 世代別収入と消費支出の変化
 - 世代別持ち家率／住宅ローン支払い割合
- 新興市場の台頭
 - アジア圏の富裕層が与える影響
 - 1人当たりの購買力平価GDPの推移
 - 港湾別コンテナ貨物量の推移
- Z世代・α世代の台頭
 - 世界と比較した人口構成
 - 2025年を基準とした人口増減比率の推移
 - 戦後を基準とした人口増減比率の推移
 - 世代別の価値観や購買行動の特徴
 - 他世代と比較したZ世代の価値観
- 買い物場所の変化
 - 購買チャネルの変化
 - 実店舗における購買の変化
- インバウンド需要の増加
 - インバウンド旅行者の拡大
 - インバウンド消費予測
 - インバウンド富裕層市場
 - インバウンド富裕層市場への参入
- 環境志向の拡大
 - 世界と比較した気候変動への意識

再構築される社会



世界と比較して日本の生産性の低さは依然として課題である。

雇用構造では、女性の社会進出や管理職登用が進む一方、男女間の賃金格差が残されており、若年層の離職率の上昇や副業の拡大も見られる。

少子化により子供の数が減少する一方で、ペットの人間化が進み、家族の一員として扱われる傾向が強まっている。

さらに、健康・美容意識の高まりや社会的孤立、メンタルヘルスなど新たな社会課題も顕在化している。

日本において影響が大きい要素

- 少子化の加速
 - 子供のいない世帯の拡大
 - 出生数と出産可能女性の人口推移
- ペットの人間化
 - ペットと15歳以下の子供の数
 - ペットテック市場
 - 飼い主としての満足感
 - ペット向けサービスの展開
 - アジアにおけるペット市場の拡大
- 女性の役割の変化
 - 共働き世帯と男性の育児休暇取得
 - 女性の社会進出
 - 男女間の賃金格差
 - 男女別高所得者層の推移
- 雇用構造の変化
 - 非正規雇用者の割合
 - 若年層の離職率
 - 労働組合の衰退
 - 副業の拡大
 - 米国トレンドに見る雇用の自動化
 - 世界と比較した1人当たりの労働生産性
 - 卸売・小売業の労働生産性水準
- 社会的孤立
 - 年代別の孤独感
 - 社会的孤立がもたらす経済的コスト
 - コミュニケーションのオンライン化
 - オンライン教育市場
- メンタルヘルス
 - 自殺死亡率
 - メンタルヘルス市場
 - 精神的・心理的な健康に影響を与える要因
- 超加工食品
 - 超加工食品市場
 - 食事状況の変化
- 健康志向の拡大
 - 肥満率の上昇
 - 若年女性の低栄養化
 - 健康食品市場
 - 睡眠市場
- 美容市場の成長
 - 美容医療と家庭用美容市場
 - 新たな市場の成長

技術の急速な発展



AIや生成AI、バイオサイエンス、ドローン、自動運転などの技術革新が社会や産業構造を大きく変化させている。

中でもAI技術の進展により、AI搭載ロボットであるヒューマノイドの進化が注目を集めている。

しかし、日本では生成AIの利用経験が主要国と比べて低く、知識や情報の不足が活用の障壁となっている。

また、バイオテクノロジーは生命の構成要素を活用し、製品や生物の未来を構築する可能性を秘めている。

日本において影響が大きい要素

- ドローン
 - UAVドローン市場
 - ドローンに関する研究開発
- 老朽化したインフラ
 - 自然災害がインフラに与える影響
 - 国内インフラの老朽化
 - モニタリング技術の進化
- AI・生成AI
 - 主要国と比較した生成AIの利用経験
 - 米国トレンドに見る生成AIの導入
 - 生成AI導入への企業の懸念事項
 - 生成AI導入における障壁
 - AI搭載ロボットの進化の過程
 - ヒューマノイドの台頭
 - 産業用ロボットとヒューマノイドの違い
- バイオサイエンス
 - マイクロバイオーム市場
 - 生物に着想を得た技術の幅
 - 遺伝子組み換え（GMO）食品市場
 - 世界の遺伝子組み換え開発
- 自動運転
 - 主要国と比較した自動運転レベル別シェア
 - 自動運転における国別メーカー・シェア
 - 自動運転における消費者意識
 - 電気自動車の拡大

業界の大変革



規制緩和や自動化などにより、業界全体で構造転換が進行している。

消費の形も「イミ消費」「トキ消費」「エモ消費」「トランسفォーマティブ消費」「パーパス消費」など、目的や感情を重視した新しい消費志向へと変化している。

コンシューマー業界ではリテールメディアの拡大など、“モノを売る”から“サービスやデータを売る”事業へのシフトも進む。

節約志向や物価高を背景に価格競争は激化する一方で、消費者の嗜好が細分化し、デジタル技術の進展によって一人ひとりに合わせた顧客体験の提供がますます重要になっている。

日本において影響が大きい要素

医療における規制緩和

- 遠隔診療
- OTC薬品のオンライン販売
- 医療データの二次活用
- 想定されるビジネス

サービスへのシフト

- 新しい消費志向
- 企業における新たな収入源

農業の自動化

- 主要国と比較した食料自給率
- 農業従事者の高齢化
- スマート農業普及率

マイクロモビリティ

- シェアードモビリティの台頭
- 主要国と比較した充電ポイントの密度
- 中国の動向

価格競争の激化

- 消費者物価指数の変化
- 世界の小売企業の動向

パーソナライズの拡大

- AIによるパーソナライズ
- パーソナライズに関する消費者意識
- 顧客体験の変化
- 顧客情報のDNA

極端な気候変動とエネルギー革命



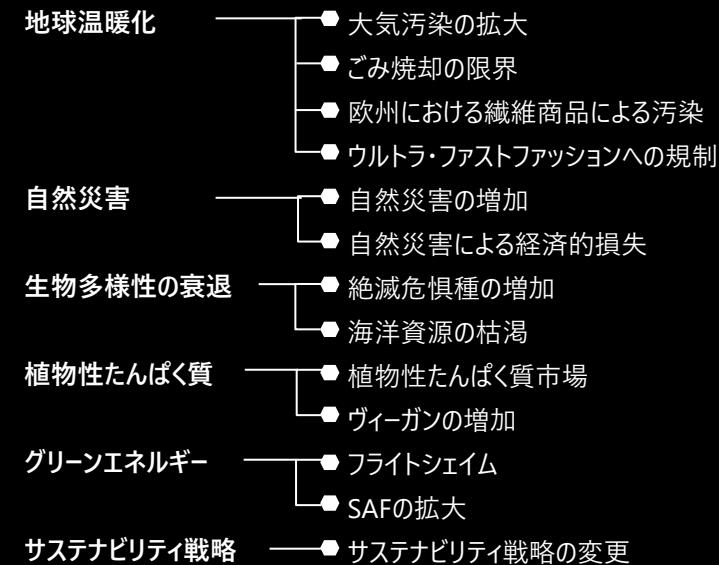
地球温暖化や自然災害の増加、生物多様性の衰退への対応が急務である。

世界全体では自然災害の頻発による経済損失の拡大、生物多様性の危機、欧州を中心にウルトラ・ファストファッショնによる環境汚染への規制強化などが進行中である。

国内においても、ごみ焼却施設の減少や最終処分場の逼迫、海水温上昇による水産資源の減少など、さまざまな課題が表面化している。

コンシューマー業界ではグリーンエネルギーとして SAF導入などの動きが見られる一方、グリーンウォッシュが企業のサステナビリティ戦略に影響を与えており、業界の未来を左右する要因となっています。

日本において影響が大きい要素



経済・政策・権力の変化



グローバルパワーのシフトが進み、米国の世界的影響力は相対的に低下している。

経済だけではなく、エネルギー、貿易、通貨、特許などさまざまな指標でその変化が見られる。

IP戦略や新興国への投資、サイバー犯罪、米国関税政策など、経済・政策・権力構造の変動が顕著である。

将来的には東南アジアやアフリカなど新興国の成長が期待され、世界経済の勢力図が再編されつつある。

日本において影響が大きい要素

グローバルパワーのシフト

- 主要国が世界のGDPに占める割合
- 主要国と新興国のGDP成長率
- 国民総所得の成長
- 世界の商品輸出額に占める主要国の割合
- 外貨準備高における米ドルの割合
- 再生可能エネルギー発電量の比較

知的財産 (IP)

- 特許出願数の推移
- 商標出願数の推移
- 主要国における知財収支

アフリカへの投資

- 外国直接投資の推移
- アフリカ地域ごとの経済成長

サイバー犯罪

- インターネット犯罪の増加
- サイバーセキュリティ

米国関税政策

- トランプ関税による影響と対応策

問い合わせ先

松尾 淳

航空運輸・ホスピタリティ&サービスセクターリーダー^{パートナー}

jmatsuo@tohmatsu.co.jp

菱本 恵子

消費財、小売・流通セクターリーダー^{パートナー}

keiko.hishimoto@tohmatsu.co.jp

佐々木 絵梨

リサーチ&ナレッジマネジメント
シニアマネジャー

デロイトトーマツ グループは、日本におけるデロイト アジア パシフィック リミテッドおよびデロイトネットワークのメンバーであるデロイトトーマツ合同会社ならびにそのグループ法人（有限責任監査法人トーマツ、デロイトトーマツリスクアドバイザリー合同会社、デロイトトーマツ コンサルティング合同会社、デロイトトーマツ ファイナンシャルアドバイザリー合同会社、デロイトトーマツ 税理士法人、DT弁護士法人およびデロイトトーマツ グループ合同会社を含む）の総称です。デロイトトーマツ グループは、日本で最大級のプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従いプロフェッショナルサービスを提供しています。また、国内約30都市に2万人超の専門家を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイトトーマツ グループWebサイト、www.deloitte.com/jpをご覧ください。

Deloitte（デロイト）とは、デロイトトウシュトーマツリミテッド（“DTTL”）、そのグローバルネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびそれらの関係法人（総称して“デロイトネットワーク”）のひとつまたは複数を指します。DTTL（または“Deloitte Global”）ならびに各メンバーファームおよび関係法人はそれぞれ法的に独立した別個の組織体であり、第三者に関して相互に義務を課しまたは拘束せることはございません。DTTLおよびDTTLの各メンバーファームならびに関係法人は、自らの行為および不作為についてのみ責任を負い、互いに他のファームまたは関係法人の行為および不作為について責任を負うものではありません。DTTLはクライアントへのサービス提供を行いません。詳細はwww.deloitte.com/jp/aboutをご覧ください。

デロイト アジア パシフィック リミテッドはDTTLのメンバーファームであり、保証有限責任会社です。デロイト アジア パシフィック リミテッドのメンバーおよびそれらの関係法人は、それぞれ法的に独立した別個の組織体であり、アジア パシフィックにおける100を超える都市（オーケランド、バンコク、北京、ベンガルール、ハノイ、香港、ジャカルタ、クアラルンプール、マニラ、メルボルン、ムンバイ、ニューデリー、大阪、ソウル、上海、シンガポール、シドニー、台北、東京を含む）にてサービスを提供しています。

Deloitte（デロイト）は、最先端のプロフェッショナルサービスを、Fortune Global 500®の約9割の企業や多数のプライベート（非公開）企業を含むクライアントに提供しています。デロイトは、資本市場に対する社会的な信頼を高め、クライアントの変革と繁栄を促進することで、計測可能で継続性のある成果をもたらすプロフェッショナルの集団です。デロイトは、創設以来180年の歴史を有し、150を超える国・地域にわたって活動を展開しています。“Making an impact that matters”をパーセス（存在理由）として標榜するデロイトの約46万人の人材の活動の詳細については、www.deloitte.comをご覧ください。

本資料は皆様への情報提供として一般的な情報を掲載するのみであり、デロイトトウシュトーマツリミテッド（DTTL）、そのグローバルネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびそれらの関係法人（総称して“デロイトネットワーク”）が本資料をもって専門的な助言やサービスを提供するものではありません。皆様の財務または事業に影響を与えるような意思決定または行動をされる前に、適切な専門家にご相談ください。本資料における情報の正確性や完全性に関して、いかなる表明、保証または確約（明示・黙示を問いません）をするものではありません。またDTTL、そのメンバーファーム、関係法人、社員・職員または代理人のいずれも、本資料に依拠した人に関する直接または間接に発生したいかなる損失および損害に対して責任を負いません。DTTLならびに各メンバーファームおよび関係法人はそれぞれ法的に独立した別個の組織体です。



IS 669126 / ISO 27001



BCMS 764479 / ISO 22301

IS/BCMS それぞれの認証範囲は
ちらをご覧ください

<http://www.bsigroup.com/clientDirectory>

Member of
Deloitte Touche Tohmatsu Limited